

大安寺報

第68号



曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp
http://www.daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

愛語よく廻天の力あることを学すべきなり
道元禪師

ネットの普及により、誰もが簡単に情報を発信することができるようになりました。その一方で、ニュースで話題になった人々への誹謗中傷による事件、また、SNSを通してのいじめも増加しています。コロナ禍などの社会不安が背景にあるのでしょうか、人間の心には、負の性質があること、また、「言葉」は人を傷つける刃にもなりかねないということをお思い知らされます。

冒頭の言葉は、道元禪師が『正法眼蔵』「菩提薩捶四摂法」でお示しのもので、「愛語」は菩薩（悟りを求める修行者の意）の四つの実徳目（四摂法）、「布施・愛語・利行・同事」のうちの一つであり、愛のある言葉、慈悲の念（思い）から生じる言葉と解釈されます。不安の多い世の中であるからこそ、相手の気持ちを思いやった上で、愛語を発したいものです。では、「廻天」とはど

う意味なのでしょう？

中国・唐の名君とされた太宗が宮殿を修復するために民衆をかり出そうとした際、ご意見番であった張玄素が「今はそのときではない」と真心を込めて進言したところ、太宗はこの忠言を受け入れ、修復をとりやめました。その様子を見た太宗の家臣・魏徴が「張、公事を論ずるに廻天の力あり」と賛美したという逸話が残っています。道元禪師はこの魏徴の言葉と共に、「明主に非ざるよりは忠言を容るることなし」とコメントをしておられます。他者からその非を指摘された際、面子のために素直に受け入れられないものですが、道理にかなったことならば、相手が誰であろうが、それにしたがうべきであり、それができるのが明君（名君）であるとお示しです。つまり、言葉を受け取る側も、言葉を発した側の思いを汲み取り、謙虚な姿勢が大切であるということなのです。この言葉に学び、相手を受けて言葉を発し、相手を思って言葉を発せられる姿勢を共に持ちたいものです。合掌

行事予告

「キャンドルライト寺ヨーガ2022夏」

- 夏至の日、キャンドルの灯が揺れる中、ヨーガ・坐禅を体験できる行事を開催します。日常を離れ、ご自身の身体と心に向き合う静かな時間を過ごしませんか？
- 日時：令和四年六月二十一日(火)午後七時～九時(六時四十五分受付開始)
- 場所：大安寺本堂
- 定員：二十名(先着順)
- 講師：中島敬子・長岡 俊成
- 参加費：五百円(当日申し受けます)
- 持ち物：ヨガマット(バスタオル可) / 動きやすい服装で / マスク着用
- 申し込み：左上の二次元コードをスマートフォンで読み取り、申し込みフォームに必要事項を入力の上でご送信ください。

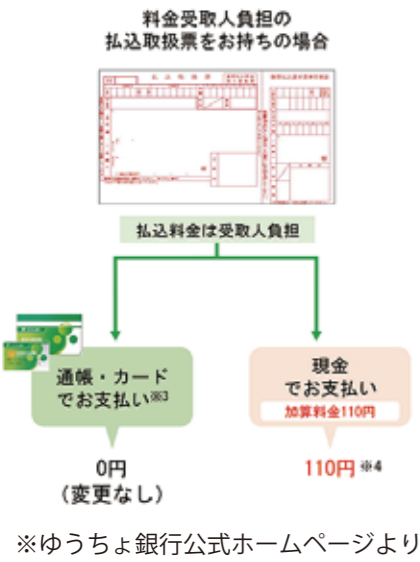


曹洞宗テレホン法話
曹洞宗宗務庁運営
0120-508-740
携帯の方は03-3454-5410
※8月9日～15日
「とうろうに思いを込めて」
(副住職担当)

曹洞宗テレホン法話
「心の電話」
東北管区教化センター運営
022-218-4444
※7月1日～10日
「災いが教えてくれたこと」
(副住職担当)

【令和四年度分維持費納入について】

○令和四年度分維持費のゆうちょ銀行払込取扱票は、六月下旬の護持会総会終了後、郵送もしくは各地区役員さんを通してお手元にお届けします。
○納入は、各地区役員さんへの直接渡し、ゆうちょ銀行ATM・窓口での払込、大安寺事務室での直接納入のいずれでも結構です。なお、納入期限は令和四年十二月三十一日です。
○令和四年一月十七日より、ゆうちょ銀行ATM・窓口にて現金で払込の場合は**窓口取扱手数料(百十円・払込人負担)**が加算されます。通帳・カードで払込の場合はこれまで通り手数料はかかりません。また、**払込手数料**はこれまで通り受取人(大安寺)にて負担します。
※転居された方は必ず大安寺まで戸主の方のお名前、新住所、連絡先(電話番号)をご連絡ください。
※電話：0175-1341-2926、
電子メール：info@daijanji.jp



仏事

Q&A 第四十三回

Q. 曹洞宗のご本尊はどなたですか？
A. 「本尊」とは、根本として尊ぶべきもの、という意味です。この本尊には、宗派の本尊や、各寺院のお堂などに祀られている本尊、個人の守り本尊など、さまざまなものがあります。曹洞宗の宗派としての本尊は「釈迦牟尼仏」(仏教の開祖であるお釈迦さま)です。道元禪師のお言葉によれば、それは過去・現在・未来の全ての仏さまのお名前でもありません。この意味では、本尊とは、歴史上の人物であるお釈迦さまであると同時に、過去・現在・未来の一切諸仏でもあるということになります。また、大本山永平寺をお開きになった道元禪師(高祖承陽大師)と、大本山總持寺をお開きになった瑩山禪師(太祖常済大師)の両禪師さまのことを「両祖さま」と尊称し、本尊のお釈迦さまと両祖さまを併せて、「一仏両祖」や「三尊仏」と尊称し、寺院や家庭の仏壇などにお祀りしています。このお三方のご生涯とみ教えは、私たちの信仰と修行における唯一無二のよりどころです。

各種講座のご案内(令和四年六月～八月)

- ※新型コロナウイルス感染症拡大の場合は中止する場合があります。詳しくは、**当面の間、茶話会の開催は見合わせます。**
- ◆「月例写経・写仏会」(予約不要)
日時：六月二十六日(日)、七月三十一日(日)、八月二十八日(日) 午後一時～三時
内容：ミニ法話・写経・写仏
場所：中広間 参加費：三百円 備考：椅子席
- ◆「暁天坐禅会」(予約不要)
日時：六月五日(日)・十九日(日)、七月三日(日)・十七日(日) 八月七日(日)・二十一日(日)
午前七時～八時 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合
内容：禅語紹介・坐禅
場所：本堂 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能 服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)
- 八月十三日(土)
「迎え火萬灯会」午後六時半～八時 ※荒天時は本堂内にて
- 八月十六日(火)
「盂蘭盆会施食会法要」(本堂)午前十一時
※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて
- 「送り火萬灯会」午後六時半～八時 ※荒天時は本堂内にて
- ※萬灯会用カップロソクは八月一日(月)より事務室にて販売します。

編集後記

コロナ禍中ということもあり、悩みながらの花まつりとなりましたが、皆さんの笑顔や、お話の花を咲かせる様子、子どもたちが楽しそうに境内を遊び回る様子を見て、開催の決断は間違いではなかったと感じました。ご協力くださった皆様にあらためて感謝申し上げます。(副住職)

次号のご案内

令和四年八月中旬に発行予定です。

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)